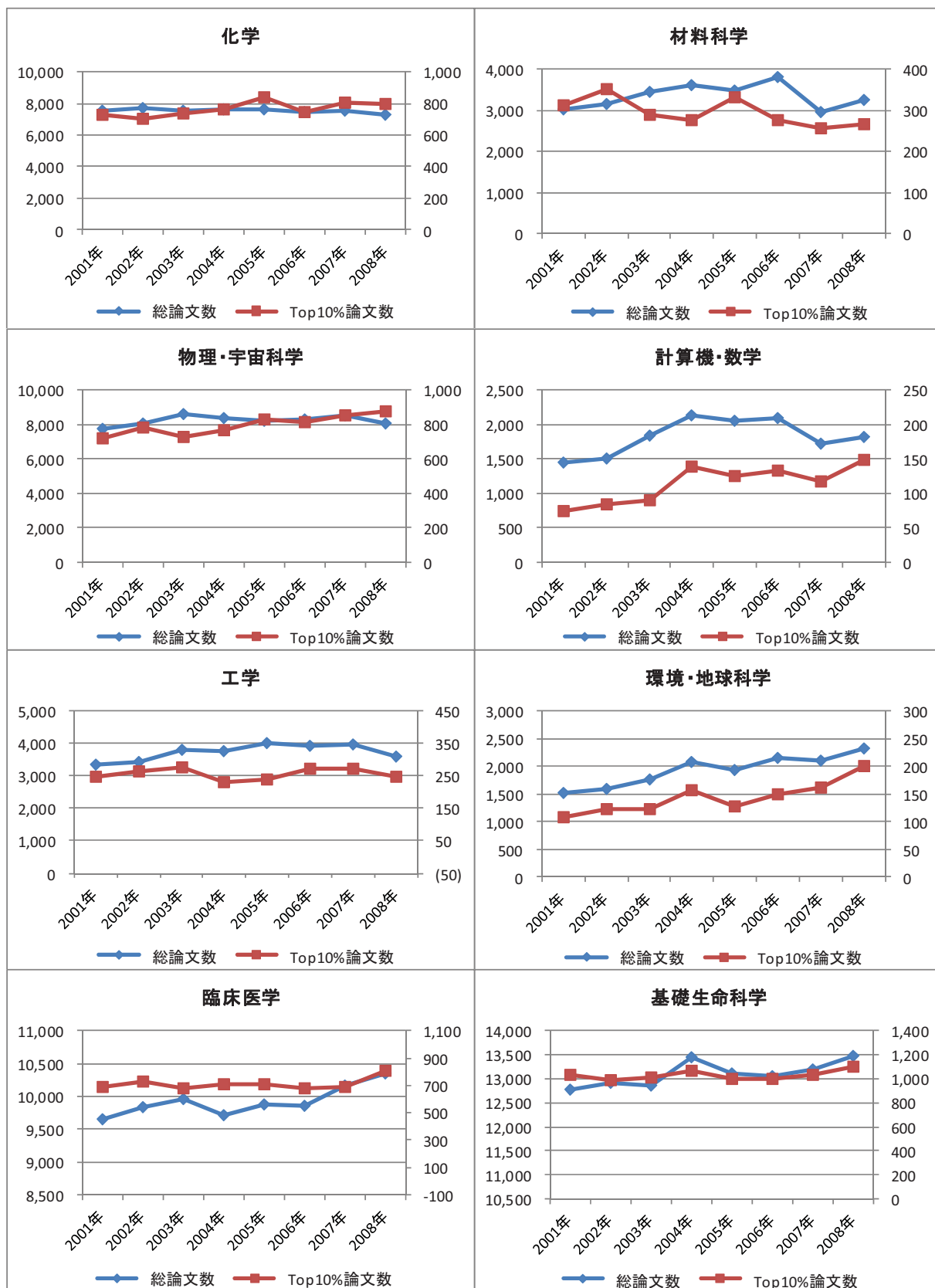


図 2-61 分野別の論文生産数の推移

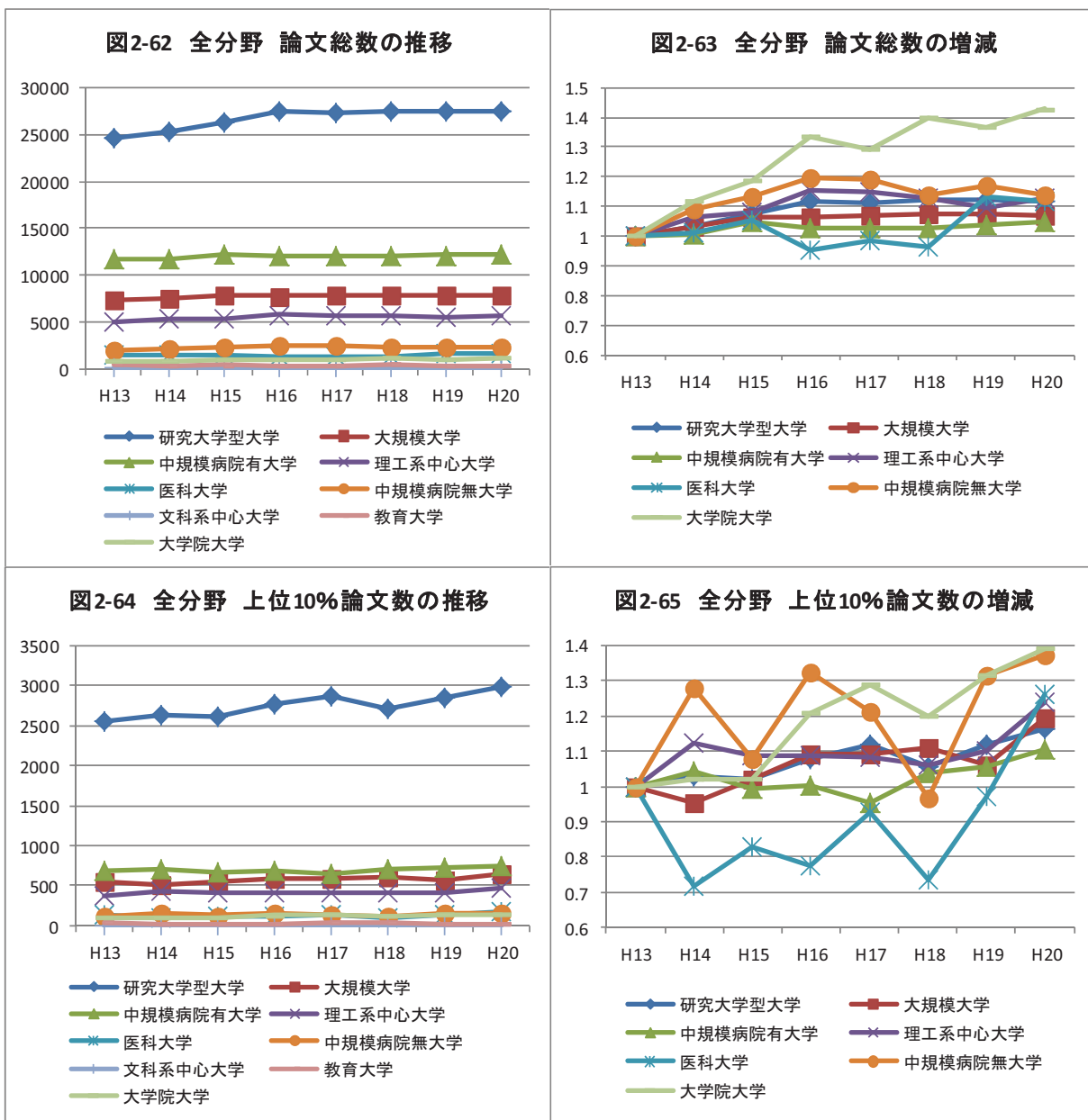


(出典) Thomson Reuters 社刊行"National Citation Report for Japan 2001-2010 "(NCR-J)に関する根岸正光 名誉教授 (国立情報学研究所、総合研究大学院大学) の調査統計結果に基づき内閣府作成。

## ② 大学類型別の分析結果

今まで用いてきた9種類の大学類型と、先ほど用いた8種類の分野区分を用いて論文生産動向の変化をしてみる。

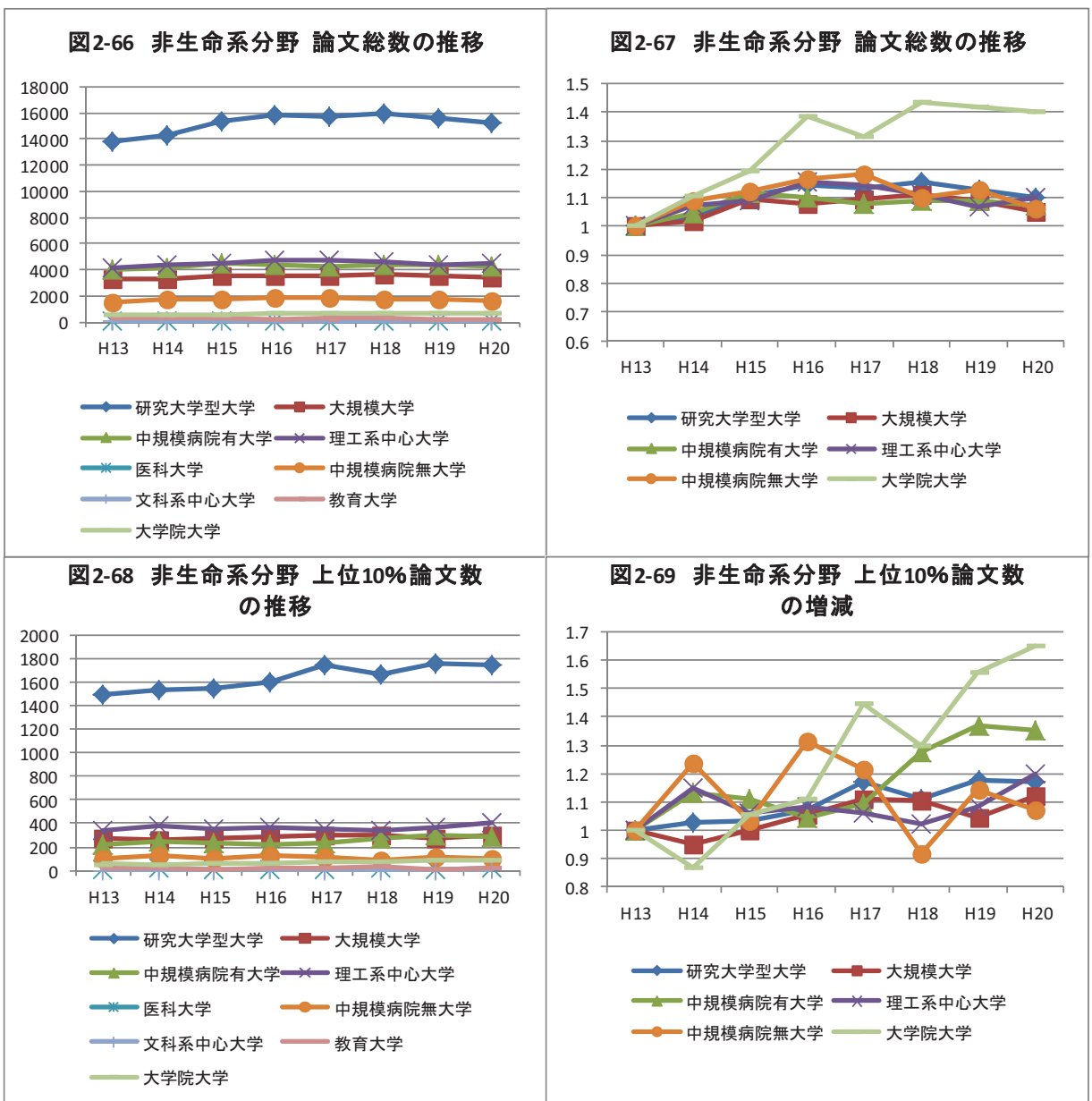
まず全分野合計で論文総数とTop10%論文の大学類型別の変化を見てみると、論文総数において研究大学型大学、大規模大学、中規模病院有大学の順に伸び率が高くなっており、Top10%論文でも中規模病院有大学が相対的に低迷している状況が伺われる（増減のグラフでは、論文数の少ない大学類型は数字の振幅が激しすぎることから除いている。）。また論文総数では、2004年を境に研究大学型大学などで論文数の伸びが止まったような状況が見受けられる。



(出典) Thomson Reuters 社刊行"National Citation Report for Japan 2001-2010 "(NCR-J)に関する根岸正光名誉教授(国立情報学研究所、総合研究大学院大学)の調査統計結果に基づき内閣府作成。

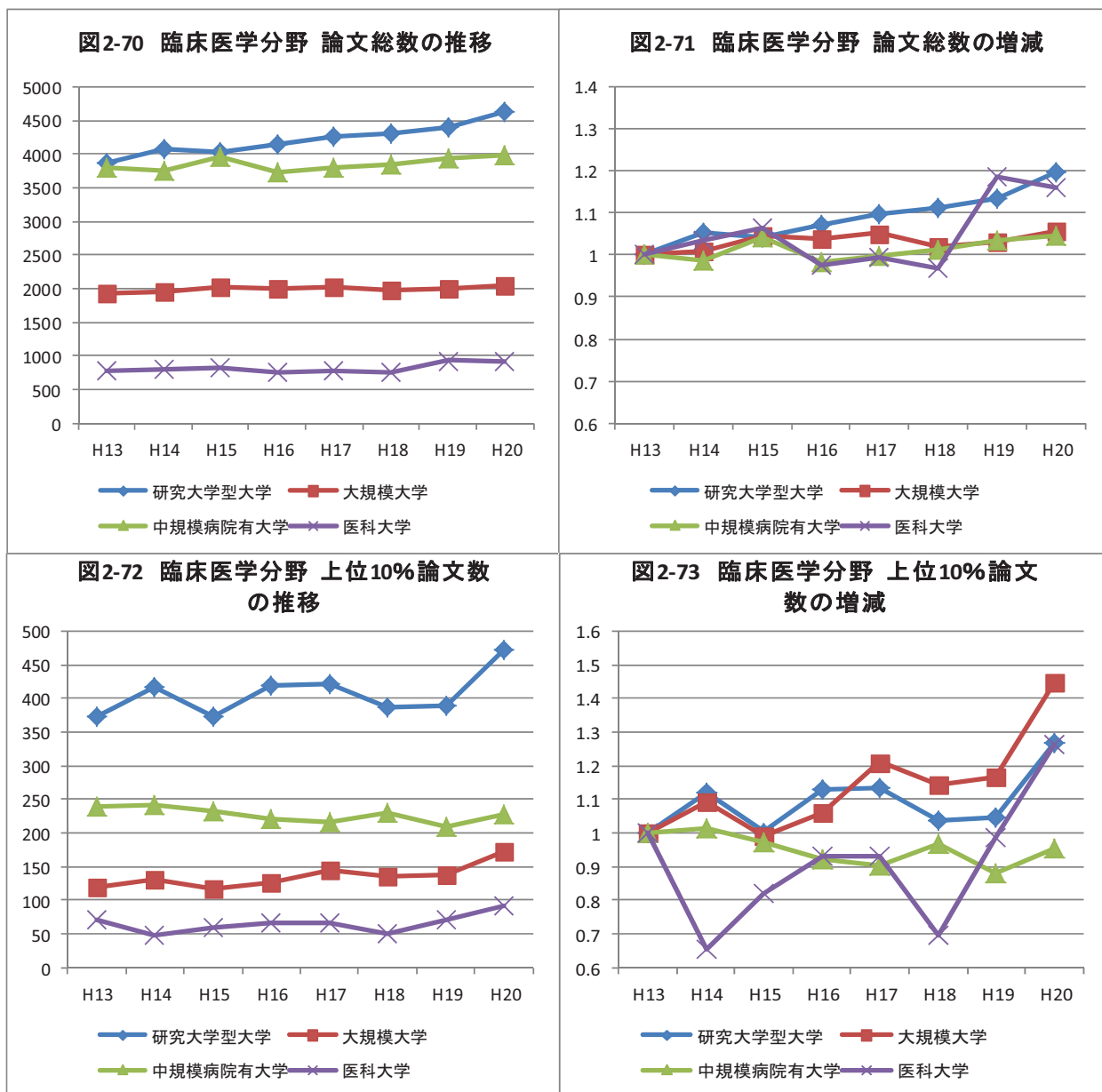
以上の変化の背景について、更に分野別に分解して検証してみる。全体を大きく生命系以外の分野全体（非生命系分野：化学、材料科学、物理・宇宙科学、計算機・数学、工学、環境・地球科学）と臨床医学、それに基礎生命科学の3つに分類して分析する。

まず非生命系分野であるが、論文総数の伸びに関する大学類型間の差は小さい。Top10%論文でも、絶対的な本数が少ないので留保が必要であるが、中規模病院有大学が健闘しているように見える。一方2004年前後を境に、それまで全体的に増加傾向にあった論文総数については概ね低下傾向に転じている（67頁の図2-61にも同様な傾向が見られる）。同年は国立大学が法人化された年であるが、このことと論文数の減少と関係があるのかどうかは分からない（次に見る臨床医学分野ではこうした事態は生じていない）。



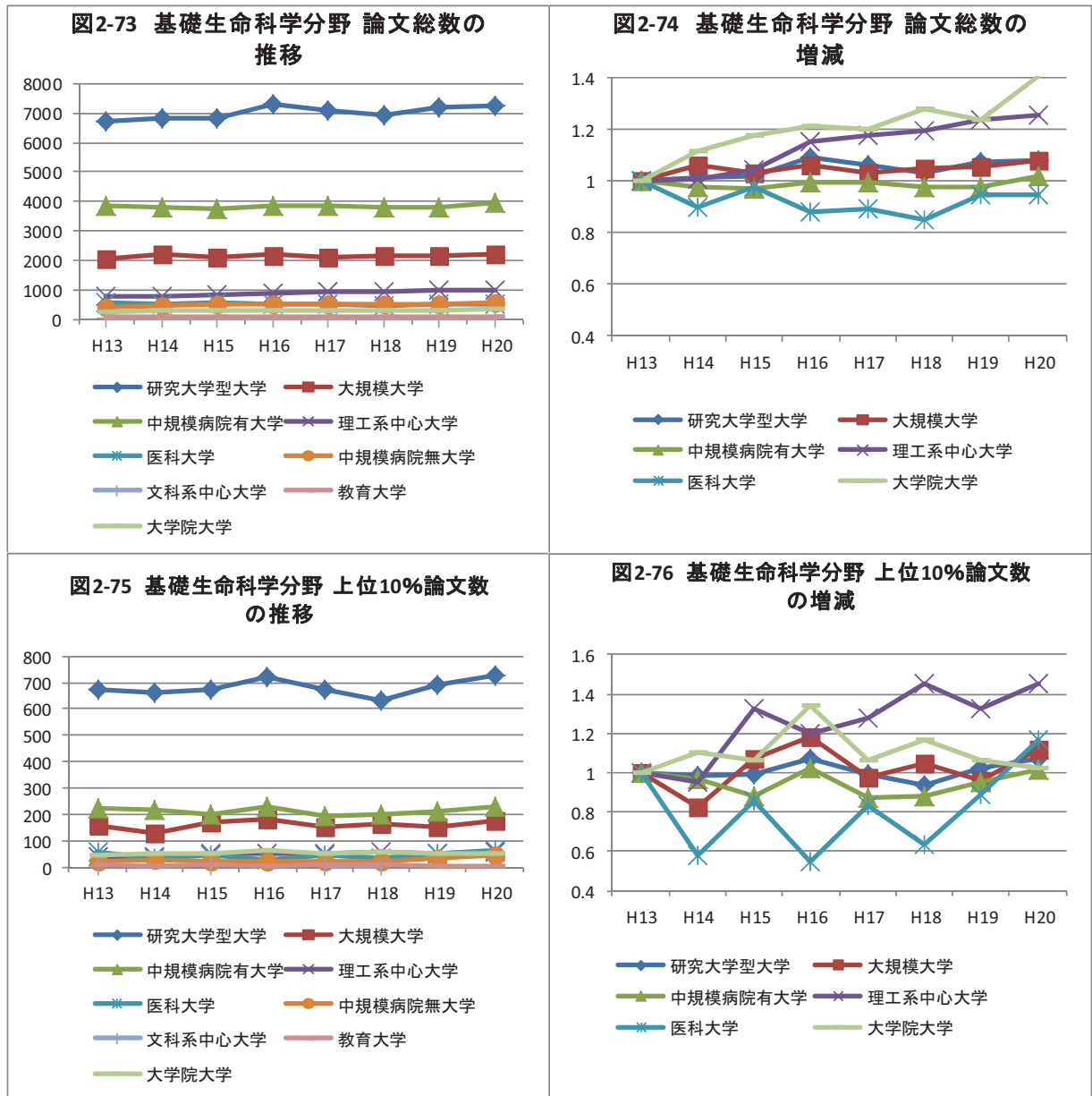
(出典) Thomson Reuters 社刊行"National Citation Report for Japan 2001-2010“(NCR-J)に関する根岸正光名誉教授(国立情報学研究所、総合研究大学院大学)の調査統計結果に基づき内閣府作成。

次に臨床医学分野を見ると、論文総数において研究大学型大学が増加しているのに対して、大規模大学と中規模病院有大学は伸びが低い。Top10%論文については研究大学型大学とともに大規模大学がかなり増加しているが、中規模病院有大学はむしろ減少傾向にある。2004年は国立大学が法人化された年であるとともに、医師の卒後臨床研修が必修化された年でもあり、後者の出来事の方が、大都市圏に所在する研究大学型大学と、地方都市に所在する中規模病院有大学に対して異なった影響を与えたのではないかと推測される。



(出典) Thomson Reuters 社刊行"National Citation Report for Japan 2001-2010“(NCR-J)に関する根岸正光名誉教授(国立情報学研究所、総合研究大学院大学)の調査統計結果に基づき内閣府作成。

最後に基礎生命科学分野を見ると、論文総数、上位 10%論文数の双方において、研究大学型大学並びに大規模大学に較べて中規模病院有大学がやや低迷しているが、臨床医学分野と較べるとその差は小さい。また、理工系中心大学の伸びの大きさが目立っている。



(出典) Thomson Reuters 社刊行"National Citation Report for Japan 2001-2010“(NCR-J)に関する根岸正光名誉教授(国立情報学研究所、総合研究大学院大学)の調査統計結果に基づき内閣府作成。

以上を簡単に総括すれば、大学類型別に論文生産の状況を見た場合、全分野共通で見ると研究大学型大学>大規模大学>中規模病院有大学の順で伸び率に差があるが、これを大括りの分野別に見てみると、最も大きな影響を与えているのは臨床医学分野であり、その背景には 2004 年に行われた医師の卒後臨床研修の必修化があるものと考えられる。

47 頁の表 2-5 において、法人化以降の大学類型別の本務教員の増減率が一律ではないことを見た。また本務教員の人数の規模を維持できている大学においても、旧国立大学時代の定

員の継承ポストについては総人件費改革による削減対象とされており、他方で運営費交付金以外の外部資金を財源とするポストを時限で増加させている状況にある。これらが各大学の研究力・論文生産量にどのような影響を与えてきたのか現時点で論じることは未だ時期尚早であるが、今後検証すべき重要な課題であると考えられる。

最後に今まで掲げた図 2-62～2-76 に関する実数データを表 2-6 に掲げる。

表 2-6 大学類型別に見た論文数と増加率

### 1. 全分野

	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
研究大学型大学	24,578 (100%)	25,375 (103%)	26,352 (107%)	27,515 (112%)	27,283 (111%)	27,538 (112%)	27,530 (112%)	27,501 (112%)
大規模大学	7,301 (100%)	7,523 (103%)	7,771 (106%)	7,762 (106%)	7,795 (107%)	7,839 (107%)	7,836 (107%)	7,817 (107%)
中規模病院有大学	11,699 (100%)	11,747 (100%)	12,241 (105%)	12,081 (103%)	11,991 (103%)	12,023 (103%)	12,125 (104%)	12,278 (105%)
理工系中心大学	4,989 (100%)	5,311 (106%)	5,391 (108%)	5,748 (115%)	5,738 (115%)	5,634 (113%)	5,473 (110%)	5,629 (113%)
医科大学	1400 (100%)	1419 (101%)	1474 (105%)	1334 (95%)	1377 (98%)	1352 (97%)	1583 (113%)	1566 (112%)

### 2. 非生命系分野（化学、材料科学、物理・宇宙科学、計算機・数学、工学、環境・地球科学）

	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
研究大学型大学	13,840 (100%)	14,301 (103%)	15,319 (111%)	15,870 (115%)	15,677 (113%)	16,007 (116%)	15,632 (113%)	15,251 (110%)
大規模大学	3,249 (100%)	3,311 (102%)	3,553 (109%)	3,506 (108%)	3,563 (110%)	3,604 (111%)	3,541 (109%)	3,425 (105%)
中規模病院有大学	3,990 (100%)	4,172 (105%)	4,459 (112%)	4,384 (110%)	4,306 (108%)	4,342 (109%)	4,358 (109%)	4,277 (107%)
理工系中心大学	4,113 (100%)	4,423 (108%)	4,482 (109%)	4,754 (116%)	4,707 (114%)	4,575 (111%)	4,384 (107%)	4,530 (110%)

### 3. 臨床医学系分野

	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
研究大学型大学	3,871 (100%)	4,078 (105%)	4,036 (104%)	4,146 (107%)	4,250 (110%)	4,301 (111%)	4,397 (114%)	4,628 (120%)
大規模大学	1,934 (100%)	1,949 (101%)	2,025 (105%)	2,007 (104%)	2,033 (105%)	1,973 (102%)	1,996 (103%)	2,046 (106%)
中規模病院有大学	3,802 (100%)	3,752 (99%)	3,963 (104%)	3,735 (98%)	3,792 (100%)	3,845 (101%)	3,928 (103%)	3,978 (105%)
医科大学	785 (100%)	813 (104%)	836 (106%)	767 (98%)	780 (99%)	760 (97%)	930 (118%)	911 (116%)

### 4. 基礎生命化学分野

	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
研究大学型大学	6,696 (100%)	6,802 (102%)	6,824 (102%)	7,305 (109%)	7,109 (106%)	6,920 (103%)	7,173 (107%)	7,247 (108%)
大規模大学	2,055 (100%)	2,184 (106%)	2,114 (103%)	2,181 (106%)	2,123 (103%)	2,152 (105%)	2,172 (106%)	2,218 (108%)
中規模病院有大学	3,871 (100%)	3,783 (98%)	3,767 (97%)	3,853 (100%)	3,851 (99%)	3,782 (98%)	3,777 (98%)	3,943 (102%)

(出典) Thomson Reuters 社刊行"National Citation Report for Japan 2001-2010 "(NCR-J)に関する根岸正光名誉教授 (国立情報学研究所、総合研究大学院大学) の調査統計結果に基づき内閣府作成。